

熟語の読み方2

新出漢字

	硫	冶	乙	碁	患	錠	繭	謁	瞳	粹	錦	瀬	藍	峽	枠
	リュウ	ヤ	オツ	ゴ	カン (わすらう)	ジョウ	マユ (ケン)	エツ	ドウ ひとみ	スイ いき	キン にしき	セ	アイ (ラン)	キョウ	ワク
	硫	冶	乙	碁	患	錠	繭	謁	瞳	粹	錦	瀬	藍	峽	枠
	硫	冶	乙	碁	患	錠	繭	謁	瞳	粹	錦	瀬	藍	峽	枠
	一	、	乙	一	、	、	一	、	、	、	、	、	一	一	一
	⑮ 濃い硫酸 <small>硫酸・酸素・水素からなる強酸性の液体。化学工業用途で広く使用。</small> (りゆうさん)	⑭ 採鉱冶金学 <small>鉱石から金属を取り出し精製、加工したり合金を作ったりすること。</small> (やきん)	⑬ 甲乙をつける <small>甲と乙。第一と第二。優れているものと劣っているもの。</small> (こうおつ)	⑫ 碁石を片づける (ごいし)	⑪ 患者を診察する (かんじゃ)	⑩ 錠前を取り付ける <small>戸や扉につけて戸締りをする金具。</small> (じょうまえ)	⑨ 繭玉を飾り付ける <small>柳の枝などに、繭の形にまるめた餅や縁起物の模型をつけた正月の飾り物。</small> (まゆだま)	⑧ 国王に謁見する <small>貴人や目上の人にお目にかかること。</small> (えっけん)	⑦ つぶらな瞳 (ひとみ)	⑥ 純粹な心 (じゆんすい)	⑤ 錦絵の展示 <small>木版刷りの美しい浮世絵。</small> (にしきえ)	④ 川の浅瀬を渡る (あさせ)	③ 藍色の布 <small>藍からとった染料で染めた濃い青色。</small> (あいいろ)	② 深い峡谷の岸壁 <small>けわしい山にはさまれた、幅のせまい谷。</small> (きようこく)	① 予算の枠内に収める (わくない)

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを()に書きましょう。

熟語の読み方2

教科書に登場する漢字の読み

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

① 夕刊紙	(ゆうかん)	①7 絞り染めの反物	(たんもの)
② 手本を示す	(てほん)	①8 感謝状を贈る	(おく)
③ 荷物をまとめる	(にもつ)	①9 展覧会に行く	(てんらんかい)
④ 五月雨	(さみだれ・さつきあめ)	②0 怪我の治療をする	(ちりょう)
⑤ 白髪	(しらが・はくはつ)	②1 乙女らしい振る舞い	(おとめ)
⑥ 梅雨	(つゆ・ばいう)	②2 建物の崩壊	(ほうかい)
⑦ 吹雪	(ふぶき)	②3 鍛冶屋の道具	(かじや)
⑧ 年月	(ねんげつ・としつき)	②4 硫黄の匂い	(いおう)
⑨ 明日	(みょうにち・あす)		
⑩ 彼の方が一枚上手だ	(うわて)		
⑪ 舞台の上手に立つ	(かみて)		
⑫ 姉は上手な字を書く	(じょうず)		
⑬ 湯桶読み	(ゆとう)		
⑭ 洞窟を探検する	(たんけん)		
⑮ 干潟にすむ生物	(ひがた)		
⑯ 喪中のはがき	(もちゅう)		

一反になっている織物。一般に呉服。

熟語の読み方2

教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 予算の わく ないに収める	(枠内)	⑩ じょうまえ を取り付ける	(錠前)
② 深い き よう こく の岸壁	(峡谷)	⑨ まゆだま を飾り付ける	(繭玉)
③ あい いろの布	(藍色)	⑧ 国王に え っ けん する	(謁見)
④ 川の あ させ を渡る	(浅瀬)	⑦ つぶ ら な ひ と み	(瞳)
⑤ に し き え の展示	(錦絵)	⑥ じ ゆ ん す い な 心	(純粹)
⑥ じ ゆ ん す い な 心	(純粹)	⑤ に し き え の展示	(錦絵)
⑦ つぶ ら な ひ と み	(瞳)	④ 川の あ させ を渡る	(浅瀬)
⑧ 国王に え っ けん する	(謁見)	③ あい いろの布	(藍色)
⑨ まゆ だ ま を飾り付ける	(繭玉)	② 深い き よう こく の岸壁	(峡谷)
⑩ じ ょう ま え を取り付ける	(錠前)	① 予算の わ く ない に収める	(枠内)
⑪ か ん じ や を診察する	(患者)	⑮ 濃 い り ゆ う さ ん	(硫酸)
⑫ い ご を片づける	(碁石)	⑭ 採 鉱 や き ん 学	(冶金)
⑬ こ う お つ をつける	(甲乙)	⑬ こ う お つ をつける	(甲乙)
⑭ 採 鉱 や き ん 学	(冶金)	⑫ い ご を片づける	(碁石)
⑮ 濃 い り ゆ う さ ん	(硫酸)	⑪ か ん じ や を診察する	(患者)
⑯ さ み だ れ	(五月雨)	⑩ じ ょう ま え を取り付ける	(錠前)
⑰ て ほ ん を示す	(手本)	⑨ ま ゆ だ ま を飾り付ける	(繭玉)
⑱ さ み だ れ	(五月雨)	⑧ 国王に え っ けん する	(謁見)
⑲ さ み だ れ	(五月雨)	⑦ つぶ ら な ひ と み	(瞳)
⑳ し ら が	(白髪)	⑥ じ ゆ ん す い な 心	(純粹)
㉑ つ ゆ	(梅雨)	⑤ に し き え の展示	(錦絵)
㉒ ふ ぶ き	(吹雪)	④ 川の あ させ を渡る	(浅瀬)
㉓ 彼 の 方 が 一 枚 う わ て だ	(上手)	③ あい いろの布	(藍色)
㉔ 舞 台 の か み て に 立 つ	(上手)	② 深い き よう こく の岸壁	(峡谷)
㉕ 姉 は じ ょう ず な 字 を 書 く	(上手)	① 予算の わ く ない に収める	(枠内)
㉖ 洞 窟 を た ん けん す る	(探検)	⑮ 濃 い り ゆ う さ ん	(硫酸)
㉗ ひ が た に す む 生 物	(干潟)	⑭ 採 鉱 や き ん 学	(冶金)
㉘ も ち ち ゅう の は が き	(喪中)	⑬ こ う お つ をつける	(甲乙)
㉙ て ん ら ん かい に 行 く	(展覧会)	⑫ い ご を片づける	(碁石)
㉚ 感 謝 状 を お く る	(贈る)	⑪ か ん じ や を診察する	(患者)
㉛ 絞 り 染 め の た ん も の	(反物)	⑩ じ ょう ま え を取り付ける	(錠前)
㉜ て ん ら ん かい に 行 く	(展覧会)	⑨ ま ゆ だ ま を飾り付ける	(繭玉)
㉝ 感 謝 状 を お く る	(贈る)	⑧ 国王に え っ けん する	(謁見)
㉞ 絞 り 染 め の た ん も の	(反物)	⑦ つぶ ら な ひ と み	(瞳)
㉟ て ん ら ん かい に 行 く	(展覧会)	⑥ じ ゆ ん す い な 心	(純粹)
㊱ 感 謝 状 を お く る	(贈る)	⑤ に し き え の展示	(錦絵)
㊲ 絞 り 染 め の た ん も の	(反物)	④ 川の あ させ を渡る	(浅瀬)
㊳ て ん ら ん かい に 行 く	(展覧会)	③ あい いろの布	(藍色)
㊴ 感 謝 状 を お く る	(贈る)	② 深い き よう こく の岸壁	(峡谷)
㊵ 絞 り 染 め の た ん も の	(反物)	① 予算の わ く ない に収める	(枠内)

熟語の読み方2

教科書に登場する漢字の書き

① 怪 ^け 我 ^が のちりようをす	(治療)	
② おとめらしい振る舞い	(乙女)	
③ 建物のほうかい	(崩壊)	
④ かじ屋の道具	(鍛冶)	
⑤ いおうの匂い	(硫黄)	
□ まどわくを白く塗る	(窓枠)	
□ いきな計らい	(粋)	
□ 紅葉のけいこくを行く	(溪谷)	川が流れている深い谷。
□ 険しいきようこく	(峡谷)	
□ せと物	(瀬戸)	
□ 立つせがない	(瀬)	
□ きんしゅうの候	(錦秋)	紅葉が錦の柄のように美しく色づいた秋。
□ いごを打つ	(囲碁)	
□ おつなことを言う	(乙)	

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。